

経営健全化方針に基づく取組状況（令和7年度）

○法人名 秋田栗駒リゾート株式会社

○経営健全化方針を策定した理由

- ・平成29年度決算において、債務超過額が22,434千円となり単年度赤字となったため、策定したもの。

○財政的リスクの状況

	平成29年度決算	令和7年度決算	目標達成年度 (令和11年度)
債務超過額（千円）	22,434	89,028	0

○主な取組状況（令和8年7月現在）

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- ・人手不足への対応と業務効率化のため、レストランへの食券機導入や朝食の一部セルフ化スキー場における電子チケットの活用などを進め、効率的な運営体制の構築を図っている。
- ・栗駒山荘においては、閑散期の特別プランの販売やウェブ予約枠の拡大、次年度閑散期の先行優先予約の受付、体験型プログラムイベントの開催、ホームページ・SNSを活用した情報発信の強化など、創意工夫を重ねた営業活動を展開している。
- ・ホテルプランにおいては、食事提供業務を外部委託することで「食事付き宿泊プラン」の販売を再開し、夏期の収益向上および通年を通じた収益力の強化を図っている。
- ・秋田県や東成瀬村が実施する各種支援制度を積極的に活用し、新規利用者の獲得や団体客の合宿誘致などさらなる誘客促進と売上高の確保につなげている。

【地方公共団体による財政的なリスクへの対処のための対応】

- ・当該法人の経営会議に出席し、各施設の経営改善に向けた方策を定期的に協議している。
- ・村内施設の利用促進のため、村応援団制度による利用料金割引や合宿等に対する補助制度など側面的支援を実施し、売上高の確保につなげている。
- ・経年劣化等著しい施設の大規模改修を実施し、利用者の快適性の向上と省エネ設備導入による維持管理コスト削減を図っている。
- ・外部人材を導入し、法人の現状分析と経営改善に努めている。
- ・物価等高騰の影響が大きいため、指定管理料の適切な見直しを図っている。

○法人の財務状況

（貸借対照表から）

（単位：千円）

	平成29年度決算	令和7年度決算
資産総額	58,931	46,766
（うち現預金）	39,713	35,102
（うち売上債権）	10,172	4,770
（うち棚卸資産）	5,134	4,140
負債総額	81,365	135,794
（うち当該地方公共団体からの借入金）	0	0
純資産総額	△ 22,434	△ 89,028

（損益計算書から）

	平成29年度決算	令和7年度決算
経常収益	356,770	303,505
経常費用	358,156	309,183
経常利益（損益）	△ 1,386	△ 5,677
経常外利益（損益）	0	△ 1,146
当期純利益（損益）	△ 1,590	△ 7,027